HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	表紙・目次
Description	「遊ぶ・学ぶ・働く　：　持続可能な発達の支援のために」シンポジウム報告書：子ども発達臨床研究センター総合研究企画(2011サステナ企画)．　平成23年11月2日(水)～4日(金)．　北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟　教育学研究院会議室．　札幌市
Citation	「遊ぶ・学ぶ・働く　：　持続可能な発達の支援のために」　シンポジウム報告書
Issue Date	2012-05-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/49394
Type	other
File Information	HyoshiMokuji.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

《子ども発達臨床研究センター総合研究企画（2011 サステナ企画）》

遊ぶ・学ぶ・働く

—— 持続可能な発達の支援のために ——

日程：11月2日（水）19時から4日（金）12時まで

会場：11月2日（水）・3日（木）
北海道大学　人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）103
11月4日（金）
教育学研究院　会議室（3階）

はじめに

近代以後に築かれた大量生産・大量消費型の社会や暮らしの見直しが必至となる下で、教育は新たな社会を創造する市民を形成する鍵を握っています。

しかし、教育実践の現場に目をやると、子ども・親のみならず支援者どうしでもコミュニケーションをとることが難しくなり、発達支援にあたる人々の間では様々な戸惑いや苦悩、さらには孤立感・消耗感が広がっています。

次の時代を担う子ども・若者の間では、不登校や高校中退などに典型的に示されるように、学校を中心とした学びの場から早期に遠ざかる人たちが依然として減らず、学校を出たあとも不安と焦りを抱えながら人生像を模索せざるを得ない人々がかつてなく増えています。

新たな時代を切り開く市民が育つことへの期待が高まりながらも、「人が育つ」ことそのものの難しさが明らかになったのが現在でしょう。

このような時代状況に鑑み、北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センターでは、改めて「人が育つ」こと、そしてそれを支援することを問い返し、発達の可能性が抑制されることがないという意味で持続可能な発達の論理と、今の社会に求められる「人が育つ場」を構築する展望を探求していくことにしました。

私たちの暮らしは、〈遊ぶ・学ぶ・働く〉という活動から成り立っていますが、年齢段階に応じて人間的・人格的な発達を主導する活動は変化していきます。

そこでこの 3 つの活動に即しながら、発達可能性を保障するための教育の課題を検討することを目的として、2011 年 11 月に総合研究企画を実施しました。本報告書はその成果の一部をまとめたものです。当日は、理論と実践の諸領域を超えた学際的・総合的な討議により、「人が育つ社会」への展望が明らかにされました。

本報告書がこのテーマを探求するための一助となれば幸いです。

目　次

はじめに …… 3

A：基調講演

時代が締め出すこころ　～不寛容と無責任への疑義～
……川崎医科大学　青　木　省　三　6

B：シンポジウムⅠ　テーマ：遊び心の謎に迫る

子どもの遊び・大人のあそび心……京都教育大学　加　用　文　男　18

C：シンポジウムII　テーマ：学校の限界線上における学び

「高校に行かない」ことがもつ意味と中１にある〈希望〉
……静岡大学　加　藤　弘　通　30

高校中退後の若者たちの生活・労働・学びと成長 ── 内閣府高校中退者調査から
……首都大学東京　乾　　彰　夫　44

高校教育における「適格者主義」と「支援」を考える
── キャリア支援の取組を踏まえて ──
……神奈川県立田奈高等学校教諭・中央大学兼任講師　吉　田　美　穂　54

D：シンポジウムIII　テーマ：労働の場での発達

労働の場での発達　それはいかなる条件のもとで可能か
……北海学園大学　川　村　雅　則　66

現代マニラの都市底辺世界における仕事と時間　…北海道大学　石　岡　丈　昇　73

社会的企業による若者自立支援と移行問題　……聖学院大学　大　高　研　道　81
── 労働者協同組合と若者自立塾 ──

E：パネルディスカッション　テーマ：人が育つシステムを再考する

第１報告……北海道医療大学　向谷地　生　良　90

第２報告 ……NPO 法人地域生活支援ネットワークサロン　日　置　真　世　94

当日配布資料 …… 114

A：基調講演

演題「時代が締め出すこころ
～不寛容と無責任への疑義～」